

## 学校関係者評価の報告について

本校では、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己点検・評価を行っております。また、更なる教育の質の向上を目指し、専攻分野に関する業界や企業・関係団体、卒業生の方々を中心にご意見を賜り、今後の教育活動や学校運営に反映するべく、学校関係者評価委員会を実施しました。その内容結果について、学校関係者評価報告書として公表いたします。

委員の皆様には、多くの貴重なご意見やご指導をいただき、あらためて感謝申し上げます。今後は、評価委員の皆様からいただいた貴重なご意見やご助言を真摯に受け止め、より質の高い教育と学校運営の実現に向けて教職員一同努めてまいります。引き続き、温かいご支援とご指導をお願い申し上げます。

令和3年6月17日

学校法人臼井学園

北陸ビジネス福祉専門学校

校長 高村 正志

令和3年6月5日

## 学校関係者評価報告書

学校法人臼井学園  
北陸ビジネス福祉専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人臼井学園 北陸ビジネス福祉専門学校令和2年度自己点検・評価報告書及び関係資料等に基づいて実施した学校関係者評価を次のとおり報告します。

1. 日時：令和3年6月4日（金）15：00～16：30
2. 場所：学校法人臼井学園 7号館 会議室
3. 出席者

〔委員〕

平田 洋介（社会福祉法人 Q.O.L 福祉会、福祉業界関係者）  
村上 美也子（公益社団法人富山県医師会、専攻分野の関係団体）  
青山 和也（株式会社エクシーズ、企業関係者）  
跡部 則之（富山県精神保健福祉士会、専攻分野の関係団体）  
松倉 則昭（卒業生）  
藤井 順子（医療法人太閤山病院、福祉業界関係者、卒業生）

〔学校側〕

高村 正志（校長）  
眼目 早苗（医療秘書学科 学科長）  
岩城 小百合（精神保健福祉学科 学科長）  
高野 一江（介護福祉 学科長）  
前山 智信（学園総務課 課長）

#### 4. 議題

- ・ 令和2年度自己点検・評価報告説明並びに学校関係者評価
- ①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援
- ⑥教育環境 ⑦学生の受入れ募集 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献 ⑪国際交流

評価項目ごとの学校関係者評価

評価項目	意見・評価
(1) 教育理念・目標	<p>建学の精神であり教育理念である「一に人格、二に技術」が各媒体を通してしっかり示されており、講師会においても周知されている。</p> <p>人として何よりも心を重視し、専門知識や技術を修得する人材を育成について、目的や目標・方針がしっかり示されている。</p> <p>専門的知識と技術を授け、豊かな教養を養うとともに創造性に富む人間形成をはかる目標がしっかりと実践されている。</p> <p>社会のニーズを踏まえた理念・目標に今後とも期待したい。</p> <p>今日、福祉の現場において、人格や個人の尊厳を軽視する痛ましい事件等も稀に見られる。職場では社会の構成員として現実社会を肯定的に受け止め、自分と他者がより暮らしやすい社会を構築するために努力する人を求めている。深い人間愛に満ちた教育を更に期待したい。</p> <p>(ほぼ適切)</p>
(2) 学校運営	<p>委員会を設置し PDCA サイクルを徹底し、全体会議・委員長会議等を定期的で開催し、教職員間で情報共有を行う運営を心がけておられる。今後は学校運営にも DX を取り入れ、更なる効率化が求められる。</p> <p>前年度同様に運営項目どおりに実施されている。地域活動に力を入れていくことで更なる発展につながっていくと感じる。</p> <p>定期的な会議等を実施され、年間事業計画の策定と進捗状況を点検されている。</p> <p>教育活動の情報がわかりやすくホームページで公開されており、保護者・学生共に安心できる。</p> <p>(ほぼ適切)</p>
(3) 教育活動	<p>コロナ禍であってもカリキュラムに様々な工夫をこらし教育の質を維持されている。また、特別講座を開催されるなど特色ある教育活動を行っておられる。</p> <p>コロナ禍において、大きく仕組みが変化していくなかで、学生と関連した企業と新しい時代に合わせた仕組みづくりを強化してほしい。</p> <p>養成指定施設としての基準に基づいた適正な教育活動を実施され</p>

	<p>ている。</p> <p>昨年度に引き続きコロナ禍の緊急事態にしっかりと対応したカリキュラムの準備ができています。</p> <p>(ほぼ適切)</p>
(4) 学修成果	<p>就職率・資格取得率の高さは大きな成果であり、教育目標がしっかりと達成されている。卒業後のフォローアップがなされ、教育活動にフィードバックされており、今後さらなる成果の向上が期待できる。</p> <p>資格や知識・技術を学生全員が取得できる体制づくりになっている。</p> <p>国家資格や他資格の合格率、就職率が高く、質の高い専門職育成に努められている。</p> <p>高い国家試験合格率、資格取得率、就職率を維持していただきたい。</p> <p>国家試験の合格率の高さは、本人・学校の努力の証左であり、評価が高い。</p> <p>(適切)</p>
(5) 学生支援	<p>学生へのきめ細かな支援がなされており、大変充実している。コロナ禍で課外活動が中止になったのは残念である。</p> <p>教職員の愛情や思いやりが取組みに反映された支援内容である。</p> <p>進路・就職についてのセミナー実施や個別指導・相談、学校生活の支援が丁寧に行われている。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染状況によっては、休校による学業の遅れが発生する可能性や交友関係の変化、イベントの中止などが予想される。学業に影響が出ないようにオンライン授業の充実を図り、学生のメンタルヘルスへの配慮をお願いしたい。</p> <p>コロナ禍の生活でアルバイトの休業、収入減などのストレスを抱えている学生もいると思われる。せっかく就業しても感染対策や慣れない仕事疲れで将来に不安を持つ者もいると思われる。既に手厚い個別相談が行われているようであるが、在学中はもちろん、卒業後でも今後一層の個別相談や対応をしていただけないようお願いしたい。</p> <p>少人数の利点を生かし、細かな指導がなされている。さらに、個別の悩み等について、丁寧な対応に努めていただきたい。</p>

	<p>現場で求められるチームワークに応えられる人柄の育成に期待したい。</p> <p>現場で起きがちな人間関係の葛藤に孤立や耐えるだけでなく、前向きに課題を克服する、理論と人間性の育成に期待したい。</p> <p>(ほぼ適切)</p>
(6) 教育環境	<p>学生が主体的に学ぶための十分な環境が整っている。また、避難訓練や設備点検を実施され、安心して学習できる環境が整っている。</p> <p>今後、社会人の働き方が大きく変化していくなかで、学外への対応・創意工夫できる教育環境を整えていただきたい。</p> <p>社会状況を想定したオンライン授業に向け、環境整備に取り組んでおられる。</p> <p>より良い環境となるように設備等の設置や改善対策について検討されている。</p> <p>各教職員間の共通認識と連携の徹底、また各企業との連携も行われている。</p> <p>(ほぼ適切)</p>
(7) 学生の受入れ募集	<p>オープンキャンパスを実施したり、ホームページや SNS を活用したり、様々な媒体を利用して効率の良い広報活動をされている。</p> <p>学生と教師が一緒になって目標に向かう姿が表現されており、受入れ実績に繋がっているものと思われる。</p> <p>SNS 等 20・10 代を対象とした工夫をされている。</p> <p>高校訪問や進学ガイダンスに積極的に参加されている。</p> <p>新卒者はじめ、社会人、留学生と幅広いターゲット層を対象とし、それに係る広報等の計画を効果的に行っている。</p> <p>(ほぼ適切)</p>
(8) 財務	<p>財務基盤は安定しており、会計監査は適正である。また、ホームページで財務状況が公開されており、体制が整っている。</p> <p>収支計算書等を確認したところ、適正な運営財務がされている。</p> <p>早期に経営上の課題を把握し、経営状況の分析を適切に行ったうえで公開している。</p> <p>(ほぼ適切)</p>

<p>(9) 法令等の遵守</p>	<p>各種法令を遵守されており、適正な運営をされている。また、ホームページでは自己点検評価報告を公開されており、公開体制が整備されている。</p> <p>専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされている。</p> <p>毎年の点検・評価の機会を設けてあり、今後とも適正に遵守が行われていくと思われる。</p> <p>(適切)</p>
<p>(10) 社会貢献・地域貢献</p>	<p>社会人対象講座を開催されたり、教育訓練を受託されたりと地域社会への貢献が大きいですが、もう少し広報活動を強化し認知度を高めたらよいと思う。</p> <p>専門職以外の体験や共有する時間を多く増やすことで、さらに地域との関係が深いものとなると感じる。</p> <p>コロナ禍の終息後、更なる活動に期待したい。</p> <p>時間的な制限や新型コロナ感染対策等のため制約があるが、学科によっては社会人や主婦等を対象とした講座を実施するなど積極的な計画を更に進めてほしい。</p> <p>(ほぼ適切)</p>
<p>(11) 国際交流</p>	<p>アジア圏からの留学生の受入れなどで国際交流がなされ、留学生に対し今後とも個別指導や相談の一層の支援体制を望む。</p> <p>今年度も留学生を受け入れ、国際交流が行われている。学生が国際感覚を身につけられるような事業を今後とも積極的に行っていただきたい。</p> <p>国際化・人口減少の未来に合わせた取り組みを早くに取り入れ充実している。</p> <p>コロナ禍の終息後、更なる活動に期待したい。</p> <p>(ほぼ適切)</p>